

令和6年度 3歳児 うめ組「発表会」

(実践前修正箇所を斜体、実践後修正箇所を**囲み文字**にて示す。)

1. 期間 1月～2月

2. 設定の理由

子どもたちは、2学期以降、ストライダーや三輪車で友達と連なって走ったり、友達と一緒にごちそうを作ったり鬼ごっこをしたり、レストランごっこ、キャンプごっこ、ヒーローごっこ、~~ショウごっこ~~、結婚式ごっこなどいろいろなごっこ遊びを友達と一緒にしたりして、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わっている。その中で、「一緒に遊ぼう」と友達を誘ったり、「ご飯作ろう」としたいことを言ったりするなど、友達に自分の気持ちや考えを伝えようとする姿も見られている。また、一緒に遊ぶ中で、友達のしていることや考えていることを見たり聞いたりし、友達の面白いところ、素敵などころなどを感じてきている。

2学期の後半には、廃材やテープ類、紙類、ビニル袋などを使って、靴や楽器、武器や衣装などを作ることを楽しみ、作ったものを遊びに使うことも喜んでいた。

運動会では、うめ組みんなでリズム表現をする中で、なりたいものになりきって遊ぶ楽しさを感じたり、お客さん(保護者)に見てもらふことを喜んだりしていた。幼稚園生活にも慣れ、保育参観日がわかるようになり、保育参観日にお家の人に見てもらえることを楽しみにしている。

そこで、発表会では、クラスみんなでごっこ遊びをすることで、なりたいものになって遊ぶ楽しさを感じながら、自分のしたいことを決めたりこんな風にしたいと考えたりして、したいことができたことを喜んだり、自分の考えに自信をもったり、友達と一緒に遊ぶ楽しさや先生や友達と遊びを作っていく楽しさを味わったりできるようにしたい。

子どもたちにとってわかりやすいお話や心情を取り上げてごっこ遊びをすることで、なりたい登場人物を思い浮かべたり、気持ちを感じたりして、なりきって遊ぶことを楽しめる。また、これまで楽しんできた遊びを取り入れることで、こんな風になりたいと考えられるようにしていきたい。お話の中で必要な道具を考えて作る経験を通して、描きたいものや作りたいものを思い浮かべて描いたり作ったりすることも楽しんでいきたい。

また、お話に基づいてみんなで遊ぶ中で、お話に出てくるものに興味をもち、お話を聞いたり絵本や図鑑、写真で見たりして、登場人物の特徴や特性に気付き、面白いと思えるようにしていきたい。それぞれの子どもが考えたことやしたいことを聞いたり考えを引き出したりして取り入れ、したいことや考えたことを言葉や行動で伝えられるようにしていきたい。歌ったりなりきって動いたりする中で、リズムを感じたり、身体を動かすことを楽しむこともできる。また、それぞれの考えたことや表現を見たり聞いたりすることで、いろいろな友達の個性も感じてほしい。

そして、考えたことや頑張ったことをお家の人に見てもらったり聞いてもらったり褒めてもらったりして満足できるようにしたい。

3. ねらい

- ① なりたい登場人物を決めてなったり、この動きをしたいと思って考えたことをやってみたり、遊びの中でこんな風になりたいと思ったことをしようとしたりする。 自ら決める・選ぶ
- ② 自分でしたいと思ったことができたり、自分の考えた動きや言葉を友達や先生、おうちの人、他のクラスや学年の友達や先生に見てもらったり聞いてもらったり褒めてもらったりして満足したり、自分が考えたことや頑張っていることに自信をもったりする。 自分に満足する
- ③ 自分の思い通りにならずに困ったり、嫌な気持ちになったりした時などに、先生や友達に話を聞いてもらったり、思いを分かってもらったり、どうすればよいか一緒に考えたりして、気持ちを落ち着かせようとする。 気持ちをコントロールする
豊かに発想し、追求の手立てを構想する
- ④ なりたい登場人物になって遊んだり、したいことをして遊んだり、友達や先生と一緒に遊んだりするなかで、教えてもらったり、尋ねられたり、見てもらったり、褒めてもらったりして、何が楽しいか、何が好きか、何が

得意か、どんなことができるようになったかに気付いたり、自分の表現のよさや頑張り、成長などを感じたりする。

- ⑤ 先生や友達と、同じことをしたり、手をつないだりくっついたり、一緒に役にになりきって遊んだり、簡単なルールのある遊びをしたり、歌ったりして、一緒に遊ぶ楽しさを感じる。 他者という喜びを感じる
- ⑥ いろいろな友達の考えや動き、言葉、表情を見聞きしたり、真似をしてみたりして、友達の素敵などところやすごいところ、面白いところを知ろうとしたり、気付いたりする。 他者のことを知る
- ⑦ 先生と一緒に、友達の動きや表情を見たり話を聞いたりして、友達の気持ちや考え、その理由を知ろうとする。 他者のことを知る
- ⑧ 自分のしていることやしたいこと、遊びが面白くなるといった考え、困ったことや嫌だといったことをが伝わるように、実物を見せたり、して見せたりして伝えようとしたり、言葉を引き出してもらったり、一緒に言ったり、見守ってもらって自分で言ったりして、言葉や行動で伝えようとしたりし、伝えることのよさを感じる。 自分のことを伝える
問題を認識する
- ⑨ 友達の様子を見たり、先生や友達の話を聞いたりして、友達のことを気にかけて、何かしてあげようとしたり考えたりする。 他者のことを考えて行動する
- ⑩ 友達や物にぶつかって驚いたり痛い思いをしたり、友達が痛い思いをしているのを見聞きしたりして、どうやったら危なくないか考えたり、危なくない扱い方や方法を聞いたりして、危なくないようにしようとする。 身を守る
問題を認識する
豊かに発想し、追求の手立てを構想する
- ⑪ ケンパやギャロップ、片足立ちをしたり、登場人物になって動いたり、友達の動きを真似たり、友達と手を繋いだり繋がったりして動いたり、しっぽ取りで追いかけたり追いかけられたりなどして、いろいろに身体を動かす心地よさを感じる。 身体を操作する
- ⑫ しっぽやぱっくり、紙粘土や新聞紙、はさみ、ガムテープやシール、マスキングテープ、筆、ローラーなどの遊具や道具を使いながら、いろいろな体の動かし方や使い方をしようとしたり、コツを感じたりする。 身体を操作する
- ⑬ お話に出てくる生き物に興味をもち、先生に教えてもらったり、絵本や図鑑、写真を見たりして、特徴や特性、得意なことなどを知り、かわいい、怖い、面白いなど愛着をもつ。 生き物・命を見つめる
- ⑭ 紙粘土、新聞紙、画用紙、折り紙、和紙、段ボール、不織布、セロテープ、ボンド、のり、シール、廃材、絵の具、ローラーなどの素材や道具を使って遊んだり作ったりする中で、様々な形ができる、貼り付く、色が混ざる、模様ができるなど、そのものの性質や様子の違いを感じて楽しんだり、面白いと思ったり、使い方を考えたり試したりする。 事物・現象を捉える
関連付ける
- ⑮ 遊びに必要な物を思い浮かべ、紙粘土、新聞紙、画用紙、折り紙、和紙、段ボール、不織布、クラフト紙、シール、廃材、セロテープ、ガムテープ、マジックなど、いろいろな材料を使って色や形を考えて作ることを楽しむ。 造形に表す
- ⑯ 歌のリズムやテンポ、メロディを感じて歌ったり楽器を鳴らしたり、ピアノの音や曲を聴いてリズムを感じながら身体を動かしたりすることを楽しんだり、歌声が合う心地よさを感じたりする。 音楽に表す
- ⑰ 絵本を見て、登場人物の気持ちを感じたり、話が展開していく面白さを感じたり、先生や友達と一緒にイメージを膨らませてお話や役の設定を考えながらお話を作る楽しさを感じたりする。 文芸に表す
- ⑱ なりたい登場人物の動きや表情、話し方、場面を思い浮かべたり、気持ちを感じたりし、なりきって遊んだり、歌のイメージにあった動きをしたりすることを楽しむ。 身体の動きに表す

- 19 自分のしたい登場人物の姿や場면을思い浮かべて、必要だと思う物や装飾を考えたたり作ったり身につけたりして遊ぶ楽しさを感じる。 演出に表す
- 20 どう見えているか教えてもらったり見せてもらったりして、見ている人が見やすいように先生と一緒に考えたり、動きの向きや使う場所、物の置き場を考えたり変えたりする。 演出に表す
問題を認識する
豊かに発想し、追求の手立てを構想する
- 21 遊びに必要な物を、使いやすく遊びやすくなるように、どこに置いたらよいか考えて運んだり、並べたり、置いたり、片付けたりする。 場や状況を整える
問題を認識する
豊かに発想し、追求の手立てを構想する
- 22 まだ使えるものを捨てるのはもったいないと感じたり、作った物や使っているものを大切にしようとしたりする。 資源の活用を見つめる

4. 展開

好きな遊びやクラスみんなでする遊びを楽しむ	A【絵本を読んでもらう】	B【ごっこ遊びをする】	C【遊びに使うものを作ったり描いたりする】	D【リズムを感じて楽器を鳴らしたり、身体を動かしたり、歌ったりする】	E【律動をしたり、道具を使って遊んだりする】	F【簡単なルールのある遊びをする】
お話にのって遊ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 絵本を読んでもらう 登場人物や大事にした心情など関連があるいろいろな絵本や図鑑、写真を見たり読んでもらったりする 	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物になってごっこ遊びをする 危なくないように考える お話を先生や友達と一緒に作る 置き場所を考えたり、置き替えたりする 	<ul style="list-style-type: none"> 絵の具を使ってローラーやハケで色を塗ったり模様をつけたりする 紙粘土、新聞紙、画用紙、折り紙、和紙、段ボール、クラフト紙、シール、不織布、廃材、絵の具、ローラー、セロテープ、ガムテープ、マジックなどいろいろな素材でごっこ遊びに必要なものを作ったり描いたり装飾したりする 作ったものを置いたり片付けたりする 	<ul style="list-style-type: none"> 踊ったり跳ねたり楽器を鳴らしたりする 友達がするのを見たり見てもらったりする 知っている曲をアレンジして歌詞を考える 歌を歌う 歌詞に合った動きを考える 	<ul style="list-style-type: none"> ギャロップをする ケンパをする 片足立ちをする ぼっくりをする 	<ul style="list-style-type: none"> 追いかけごっこ しっぽとりやあぶくたなどの鬼ごっこをする

見てもらうことを意識して、ごっこを楽しむ

G【おうちの人や他のクラスや学年に見てもらう】

- おうちの人に参観日のように見てもらうことを知る
- 見てもらうことを楽しみにして作り足したり作り直したりする
- 見てもらうことを意識して、動きの向きや使う場所を考えたり変えたりする
- おうちの人や他のクラスや学年の友達や先生に見てもらう

A【絵本を読んでもらう】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・絵本を読んでもらう ・登場人物や大事にしたい心情など関連があるいろいろな絵本や図鑑、写真を見たり読んでもらったりする 	<p>○お話に出てくる生き物に興味をもち、先生に教えてもらったり、絵本や図鑑、写真を見たりして、特徴や特性、得意なことなどを知り、かわいい、怖い、面白いなど愛着をもつ⑬</p> <p>○絵本を見て登場人物の気持ちを感じる⑰</p> <p>○絵本を見て、話が展開していく面白さを感じる⑰</p>	<p>*見たいと思った時にいつでも見られるように、登場人物や大事にしたい心情など関連があるいろいろな絵本や図鑑を目立つ場所に置いておく。</p> <p>*絵本に出てくる登場人物の生態に興味をもてるように、それぞれの特徴が載っている絵本や図鑑、写真を目立つ場所に置いておく。</p> <p>◎それぞれの特徴や特性、得意なことなどに気付き、かわいい、怖い、面白いなど愛着をもてるように、子どもと一緒に絵本や図鑑、写真を見たり、実際に見られるものは一緒に見たり、子どもの驚きに共感して一緒に驚いたり言葉にしたりする。</p> <p>◎登場人物の気持ちを感じられるように、心情が強く表れている部分は気持ちを込めて強調して読んだり、ごっこ遊びをしながらその時の登場人物の気持ちを言葉にしたり登場人物の気持ちを一緒に考えたりする。</p> <p>◎物語が展開する楽しさやワクワク感を感じられるように、起承転結が分かりやすい絵本を選んだり、先がどうなるかワクワクする気持ちを言葉に出して共感したりする。</p>

B【ごっこ遊びをする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物になってごっこ遊びをする 	<p>○登場人物に、なりたいたいと思ってなろうとしたり、こんな風に動こうと考えてしたりする①</p> <p>○自分でしたいと思ったことができたり、自分の考えた動きや言葉を友達や教師に見てもらったり聞いてもらったり褒めてもらったりして満足したり、自分が考えたことや頑張っていることに自信をもったりする②</p>	<p>◎なりたい役を決めてなろうと思えるように、それぞれの役の楽しさを伝えたり、役の写真を掲示したり、どの役をするか尋ねたりする。</p> <p>◎役になってこんな風に動こうと思えるように、それぞれの考えた動きを褒めたり、友達の考えていることを知らせたりする。</p> <p>◎したいことができたことや、見てもらったり聞いてもらったり褒めてもらったりする嬉しさを感じられるように、十分に遊ぶ時間を確保したり、友達同士で見合う機会を作ったり、素敵などところを見つけて伝えたりする。</p> <p>◎考えたことや頑張っていることに自信をもってできるように、それぞれの子どもの考えたこと、頑張っていることを具体的に褒める。</p>

<p>○自分の思い通りにならず困ったり、嫌な気持ちになったりした時などに、先生に話を聞いてもらったり、思いを分かってもらったり、どうすればいいか一緒に考えたりして、気持ちを落ち着かせようとする③</p> <p>○教えてもらったり、尋ねられたり、見てもらったり、褒めてもらったりして、何が楽しいか、何が好きか、何が得意かに気付いたり、自分の表現のよさや頑張りを感じたりする④</p> <p>○先生や友達と、同じことをしたり、手をつないだりくっついていたり、一緒に役になりきって遊んだり歌ったりして、一緒に遊ぶ嬉しさを感じる⑤</p> <p>○友達の考えや動き、言葉、表情を見聞きしたり、している話し方や動き方を見たり聞いたりをして、真似をしてみたりして、友達の素敵などところやすごいところ、面白いところを知ろうとしたり、気付いたりする⑥</p> <p>○先生と一緒に、友達の動きや表情を見たり話を聞いたりして、友達の気持ちや考え、その理由を知ろうとする⑦</p> <p>○自分のしていることやしたいこと、遊びが面白くなると思った考え、嫌だと思ったことを音が伝わるように、実物を見せたり、して見せたりして伝えようとしたり、言葉を引き出してもらったり、一緒に言ったり、見守ってもらって自分で言ったりして、言葉や行動で伝えようとしたりし、伝えることのよさを感じる⑧</p> <p>○友達の様子を見たり、先生や友達の話の聞いたりして、友達のことを気にかけてあげようとしたり考えたりする⑨</p>	<p>◎自分の思い通りにならず困ったり、嫌な気持ちになったりした時などに、気持ちを落ち着かせられるように、スキンシップをとりながら話を聞いたり、思いを尋ねて待ったり、どうすればいいか一緒に考えたり選択肢を提案したりする。</p> <p>◎楽しんでいたり、好きなこと、得意なことに気付いたり、自分の表現のよさや頑張りを感じたりするように、楽しんでしている姿や頑張っている姿に感心したり、よさや頑張りを具体的に言葉にして褒めたりする。</p> <p>◎先生や友達と一緒に遊ぶ嬉しさを感じられるように、動きを揃えてする場面や、みんなと一緒に遊ぶ場面、一緒に声を揃えて歌う場面を作り、一緒に遊んで嬉しいと感じている気持ちを言葉にして共感する。</p> <p>◎友達の素敵などところやすごいところ、面白いところを感じられるように、友達の動きに注目させたり、教師が気付いた素敵などところを言葉にしたりする。</p> <p>◎友達の気持ちや考え、その理由を知ったり知ろうとしたりするように、友達の様子を知らせたり、気にかける姿を見せたり、一緒に尋ねたり聞いたりする。</p> <p>◎自分の思いを言葉や行動、身振りなどで伝えられるように、伝えやすい場を作ったり、注目をしたり、見守ったり、伝えにくい時には、思いを代弁したり、主語などの言葉のはじめを代弁してきっかけを作ったり、わかりにくいところを言い換えて尋ねたり、一緒に言ったりする。</p> <p>◎伝えるよさを感じられるように、伝えたことで相手が分かってくれたり変わってくれたり、助けてくれたりしたことを言葉にして一緒に喜ぶ。</p> <p>◎友達のことを気にかけて、自分にできることをしてあげようと考えられるように、友達の気持ちや考えを知らせたり、どうすればいいか一緒に考える姿を見せたり、いい考えがないか尋ねたり、気にかけて行動する姿を言葉にし</p>
--	--

<p>・危なくないように考える</p>	<p>○友達や物にぶつかって驚いたり痛い思いをしたり、友達が痛い思いをしているのを見聞きしたりして、どうやったら危なくないか考えたり、危なくない扱い方や方法を聞いたりと、危なくないようにしようとする⑩</p>	<p>て知らせたりする。</p> <p>◎危なくない方法を考えられるように、驚いたり痛い思いをしたりしている友達を知らせたり、何が危ないかを伝えたり一緒に考えたり、危なくない方法を一緒に考えたりする。</p> <p>◎気をつけることを思い出して危なくないようにしようと思えるように、これまでに考えたことを言葉にしたり、気をつけようとしている姿を取り上げたりする。</p> <p>◎物語が分かって楽しめるように、折りをみて繰り返し何度も絵本を読む。</p>
<p>・お話を先生や友達と一緒に作る</p>	<p>○物語が分かって楽しんだり、物語に親しみをもったりする⑪</p> <p>○先生や友達と一緒にイメージを膨らませてお話や役の設定を考えながらお話を作る楽しさを感じる⑫</p> <p>○なりたい登場人物の動きや表情、話し方、場面を思い浮かべたり、気持ちを感じたりし、なりきって遊ぶことを楽しむ⑬</p>	<p>◎先生や友達とお話を作る楽しさを感じられるように、子どものつぶやきや表現から、イメージや考えを取り入れたり試したりして遊んだり、子どもの思いを尋ねたり確かめたりしながら役や場面の設定、展開を一緒に作っていく。</p> <p>*登場人物や役割、場面のイメージをもって繰り返し遊べるように、なりきって遊ぶのに必要な道具を置いておいたり、ごっこ遊びに必要なものを作れる場を用意したりし、好きな遊びでも使えるよう準備をしておく。</p> <p>◎登場人物の動きや話し方を考えながら、なりきって遊べるように、一緒になりきって動いたり話したり、友達の動きや話し方を見せたり、場面や気持ちを尋ねて想像を膨らましたりする。</p> <p>◎登場人物の気持ちや場面を思い浮かべながら表現できるように、情景や状況を伝えたり、気持ちを一緒に考えたり、場面に合わせた音や音楽を鳴らしたりする。</p> <p>◎小道具や衣装などを使って表現する楽しさを感じられるように、小道具や衣装などがあるとどんな気持ちかどう見えるか尋ねたり、場面や役にぴったりで素敵なことを伝えたりする。</p>
<p>・置き場所を考えたり、置き替えたります</p>	<p>○自分のしたい登場人物の姿や場面を思い浮かべて、必要だと思う物や装飾を考えたり作ったり使ったり身につけたりして遊ぶ楽しさを感じる⑭</p> <p>○どう見えているか教えてもらったり見せてもらったりして、見ている人が見やすいように先生と一緒に考えたり、動きの向きや使う場所、物の置き場を考えたり変えたりする⑮</p> <p>○遊びに必要な物を、使いやすく遊びやすくなるように、ど</p>	<p>◎見ている人が見やすいように考えたり、動きの向きや使う場所、物の置き場を考えたり変えたりするように、教師が客席側から見て感じたことを伝えたり、客席側から交替で見る機会を作ったり、物の置き場を変えてみて違いを比べさせたりする。</p> <p>◎使いやすく遊びやすくなる置き方や場の使い方を感じたり考えたりでき</p>

	ここに置いたらよいか考えて運んだり、並べたり、置いたり、片付けたりする⑫	るように、使いにくさを感じている場面で、どうしてなのかどうすると遊びやすいのか一緒に考えたり、教師が整えて見せて使いやすいか尋ねたりする。
--	--------------------------------------	---

C【遊びに使うものを作ったり描いたりする】		
予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> 絵の具を使ってローラーやハケで色を塗ったり模様をつけたりする 紙粘土、新聞紙、画用紙、折り紙、クラフト紙、和紙、不織布、廃材、絵の具、ボンド、のり、シール、ローラー、セロテープ、ガムテープ、マジックなどいろいろな素材でごっこ遊びに必要なものを作ったり描いたり装飾したりする 作ったものを置いたり片付けたりする 	<ul style="list-style-type: none"> ○紙粘土やはさみ、ガムテープ、筆などの遊具素材や道具を使いながら、いろいろな体の動かし方や使い方をしようしたり、コツを感じたりする⑬ ○紙粘土、画用紙、和紙、不織布、廃材、絵の具、ローラーなどの素材や道具を使って遊んだり作ったりする中で、様々な形ができる、色が混ざる、模様ができるなど、そのものの性質や様子の違いを感じて楽しんだり面白いと思ったり使い方を考えたり試したりする⑭ ○ごっこ遊びに必要なものを思い浮かべ、紙粘土、新聞紙、画用紙、折り紙、クラフト紙、和紙、不織布、廃材、絵の具、ボンド、のり、シールなどを使って色や形を考えて作ることを楽しむ⑮ ○自分のしたい登場人物の姿や場面を思い浮かべて、必要だと思う物や装飾を考えたり作ったりする楽しさを感じる⑯ ○遊びに必要な物を、使いやすい 	<ul style="list-style-type: none"> *環境の構成 ◎教師の援助 ◎紙粘土やはさみ、ガムテープ、筆などの使い方を考えたり試したりできるように、使おうとしているところを見守り、友達や教師の使い方を見せたり、コツを言葉にしたり、手を添えて一緒にしたりする。 ◎素材や道具をいろいろに扱い、その性質や様子の違いを感じたり、使い方を考えたり試したりして楽しめるように、十分試す時間をとったり、感じている楽しさや面白さを言葉にしたり、一緒に使いながら使い方を見せたり言葉にしたりする。 *作りたいものに合わせて使いたい素材や色を選んで使えるように、作りたいものが作れそうな素材を複数用意したり、使い慣れた素材を用意しておいたりする。 ◎遊びに必要なものを思い浮かべて、色や形を考えて作る楽しさを感じられるように、いろいろな色があることを知らせたり、どんな色や形にしたいか、どんな飾りをつけたいか尋ねたり、友達の作っているものを見せたりする。 ◎自分のしたい登場人物の姿や場面をイメージして必要なものを考えたり、作ったりしようと思えるように、何があつたらより登場人物らしく見えるか尋ねたり、よりらしくなるように作っている姿を知らせたりする。 ◎なりたいものを思い浮かべ、よりらしくなる楽しさを感じながら作ったり考えたりできるように、作ったものによってよりそれらしく見えることを一緒に喜んだり、友達がどう見えるか尋ねたりする。 ◎遊びに必要なものや使ったものの置

	<p>く遊びやすくなるように、どこに置いたらよいか考えて運んだり、置いたり、片付けたりする⑳</p> <p>○まだ使えるものを捨てるのはもったいないと感じたり、作った物や使っているものを大切にしようとしたりする㉑</p>	<p>き場所を使いやすく遊びやすいように考えて場を作れるように、どこに置いたり片付けたりしたら使いやすいか一緒に考えたり、きれいに整える気持ちよさを伝えたりする。</p> <p>○もったいないと感じたり大切にしようとしたりするように、物には限りがあることやまだ使えることを知らせたり、大切にする姿を見せたり、まだ使える方法をして見せたりする。</p>
--	--	---

D【リズムを感じて楽器を鳴らしたり、身体を動かしたり、歌ったりする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・踊ったり跳ねたり楽器を鳴らしたりする ・友達がするのを見たり見てもらったりする ・知っている曲をアレンジして歌詞を考える ・歌を歌う ・歌詞に合った動きを考える 	<p>○自分でしたいと思ったことができたり、自分の考えたことを友達や教師に見てもらったり聞いてもらったり褒めてもらったりして満足する㉒</p> <p>○教えてもらったり、尋ねられたり、見てもらったり、褒めてもらったりして、何が楽しいか、何が好きか、何が得意かに気付いたり、自分の表現のよさや頑張りを感ぜたりする㉓</p> <p>○友達がしている動きを見て、友達の素敵どころやすごいところ、面白いところを知ろうとしたり、気付いたりする㉔</p> <p>○自分が考えたことを先生や友達に言葉で伝えたり、やってみせたりする㉕</p> <p>○歌のリズムやテンポ、メロディを感じて歌ったり楽器を鳴らしたり、ピアノの音や曲を聴いてリズムを感じながら身体を動かしたりすることを楽しんだり、歌声が合う心地よさを感じたりする㉖</p>	<p>◎したいことができた嬉しさや見てもらったり聞いてもらったり褒めてもらったりする嬉しさを感じられるように、したいことができたことを一緒に喜んだり、考えの素敵などを褒めたりする。</p> <p>◎楽しんでいたり、好きなこと、得意なことに気付いたり、自分の表現のよさや頑張りを感ぜたりするように、楽しんでしている姿や頑張っている姿に感心したり、よさや頑張りを具体的に言葉にして褒めたりする。</p> <p>◎友達の動きの素敵さや面白さを感じられるように、教師が気付いた素敵どころや面白いところを言葉にしたり、子どもに気付いたことを尋ねたりする。</p> <p>◎自分で考えたことを伝えるよさを感じられるように、伝える機会をもったり、考えたことの素敵さを褒めたり、考えを取り入れたりする。</p> <p>*リズムを感じて楽器を鳴らす楽しさを感じられるように、打楽器をいつでも使えるように置いたり、リズムの取りやすい曲や歌を用意したりする。</p> <p>◎歌のリズムやテンポを感じられるように、リズムやテンポに合わせて手拍子したり、リズムをはっきりつけて伴奏をしたりする。</p> <p>◎リズムを感じながら身体を動かすことを楽しめるように、動きに合わせたリズムやテンポで演奏したりリズムの取りやすい曲を流したりする。</p> <p>◎歌声が合う心地よさを感じられるように、リズムやテンポ、メロディが簡単な曲を選んだり、合っている時とずれている時に感じたことを尋ねたり</p>

	○歌のイメージに合った動きを考えてすることを楽しむ⑧	伝えたりする。 ◎歌のイメージに合った動きをすることを楽しくめるように、イメージに合った動きをしていることを褒めたり、どんな動きがいいか一緒に考えたりする。
--	----------------------------	---

E【律動をしたり、道具を使って遊んだりする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・ギャロップをする ・ケンパをする ・ぼっくりをする 	<p>○友達や物にぶつかって驚いたり痛い思いをしたり、友達が痛い思いをしているのを見聞きしたりして、どうやったら危なくないか考えたり、危なくない扱い方や方法を聞いたりして、危なくないようにしようとする⑩</p> <p>○ケンパやギャロップをして、身体を動かす心地よさを感じたり、バランスを取ったり、膝をしっかり曲げてバネを使ったりする⑪</p> <p>○教えてもらったり、尋ねられたり、見てもらったり、褒めてもらったりして、何が得意か、どんなことができるようになったかに気付いたり、自分の頑張りを感じたりする④</p> <p>○ぼっくりを使いながら、いろいろな体の動かし方や使い方をしようしたり、コツを感じたりする⑫</p>	<p>◎どうやったら危なくないか考えられるように、ぶつかってしまいそうな状況であることを言葉にしたり、ぶつかったあとにどうすればいいか一緒に考えたりする。</p> <p>◎気をつけることを思い出して危なくないようにしようと思えるように、これまでに考えたことを言葉にしたり、気をつけようとしている姿を取り上げたりする。</p> <p>◎身体を動かす心地よさを感じられるように、子どもの動きに合わせたテンポやリズムの曲を弾いたり、楽しさに共感したりする。</p> <p>◎バランスを取ったり、膝をしっかり曲げてバネを使ったりするなど動きを考えたり試したりするように、動きを具体的に言葉にしたり、教師がやってみせたりする。</p> <p>◎得意なことやできるようになったこと、自分の頑張りを感じたりするように、頑張っている姿に感心したり、頑張りを具体的に言葉にして褒めたり、前からの変化を言葉にして伝えたりする。</p> <p>◎ぼっくりで歩いたり、足を高く上げたり、乗るコツを感じたりするように、いろいろな乗り方をしている子どもの様子を知らせたり、教師がやって見せたり、後ろから手を添えたり、乗り方のポイントを言葉にしたりする。</p>

F【簡単なルールのある遊びをする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・追いかけてこし ・つぼとりやあぶくあったなどの鬼ごっこをする 	○先生や友達と、簡単なルールのある遊びをする楽しさを感じる⑤	◎先生や友達とルールのある遊びを一緒にする楽しさを感じられるように、ルールを分かりやすく簡単なものにしたたり、遊びに必要なから一緒に考えた

	<p>○友達のしっぽを取ろうをタッチしようと友達をねらって身体を動かしたり逃げたり追いかけたりして、いろいろに身体を動かす心地よさを感じる①</p> <p>○相手の動きを見ながら、走るスピードや方向を変えて、しっぽを取られタッチされないように逃げたり、タッチするために追いかけたりする①</p>	<p>りして共有し、繰り返し遊ぶ。</p> <p>◎身体を動かす心地よさを感じられるように、いろいろな動きの登場人物になって遊んだり、走ってみた気持ちを尋ねたり感じている気持ちを言葉にしたりする。</p> <p>◎色々な動きをしながら十分体を使って遊べるように、走るスピードを速くして緩めたり、急に方向を変えたり、相手の動きに合わせていたりしている動きを具体的に言葉で意識させる。</p>
--	---	--

G【おうちや他のクラスや学年の人に見てもらおう】		
予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・おうちの人に参観日のように見てもらおうことを知る ・見てもらおうことを楽しみにして作り足したり作り直したりする ・見てもらおうことを意識して、動きの向きや使う場所を考えたり変えたりする ・おうちの人や他のクラスや学年の友達や先生に見てもらおう 	<p>○お家の人にみてもらおうことを知り、発表会当日を楽しみに思う①</p> <p>○お家の人や他のクラスや学年の友達や先生に見てもらったり、褒めてもらったりすることを嬉しく思う②</p>	<p>◎お家の人にみてもらおうことを知り、発表会当日を楽しみに思えるように、お家の人が見に来てくれることを知らせたり、どんなところを見てほしいか尋ねたり、お家の人が見たらびっくりするであろうということを伝えたりする。</p> <p>◎見てもらいたい思いが叶えられるように、見てもらいやすい向きや場所を知らせたり、一緒に考えたりする。</p> <p>◎他のクラスや学年の友達や先生に見てもらおうことを嬉しいと思えるように、お客さんの反応を見せたり見てどうだったかお客さんに尋ねたりする。</p> <p>◎おうちの人に見てもらったり褒めてもらったりして嬉しいと思えるように、保護者に子どもが楽しんでいたり頑張っていたことについて具体的に褒められるように動きや表情などよく見て褒めてあげてほしいことを伝えておく。</p> <p>◎見てもらったり褒めてもらって嬉しい気持ちを感じられるように、見てもらえてよかったことを伝えたり、褒めてもらえて嬉しい気持ちに共感したりする。</p>